DG-station 100 シリーズ
電話機の使いかた

技術基準適合認証品

このたびは、「DG-station 100 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書には本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。
本書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。
本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。
また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。
富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。
本書にしたがって本製品を使用してください。

FUJITSU

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

発行元の許可なく本書の記載内容を複写、転写することを禁止します。
All Rights Reserved,Copyright© 富士通株式会社 2017-2022

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくは小容量 PBX/ 中大容量 PBX に添付されている取扱説明書をご覧ください。

※小容量 PBX : IP Pathfinder S

※中大容量 PBX : LEGEND-V S100、LEGEND-V
注 : LEGEND-V S100 は回線容量としては小容量 PBX と同等ですが、機能面では中大容量 PBX と同等なため、本書では中大容量 PBX に含めて記載しています。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	「⚠危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。
⚠警告	「⚠警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。
⚠注意	「⚠注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

● 安全上の注意事項

電話機／ACアダプターについて以下の注意事項をお守りください。
尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。

⚠危険

(1) 使用方法について

使用上の注意

・本電話機に使用する AC アダプターは、指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。

指定 AC アダプター
: FC164H12（FC780BM ボタンモジュール用）

⚠警告

(1) 使用方法について

予想される誤った使いかたの注意

- 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- 電子レンジや高圧容器に、AC アダプターや電話機本体を入れないでください。AC アダプター、電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解・改造の禁止

- 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- 接続コードには、本電話機以外の機器または、改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の注意

- 接続コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の制限・禁止

- 内部の点検、修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、煙が出る、変なにおいがした場合には、電話機本体から電話機コード、AC アダプターをコンセントから抜いて、煙がでなくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

(1) 使用方法について

使用環境の注意

- 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機をホコリの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

予想される誤った使いかたの注意

- 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 電話機を通路に置かないでください。けがの原因になることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

・法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「事業系 IT 製品リサイクルサービス」をご利用ください。
詳しくは、下記の Web サイトをご覧ください。
(http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/recycle/index.html)

・本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要がございます。詳しくは、お買い上げになった販売店へお申し付けください。

本書の見かた

本書では、DG-station 100 シリーズでご利用になれる基本的な機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

■ 本書の構成

1 章　お使いになる前に	お使いになる前に、知っておいていただきたいことをまとめています。
2 章　電話をかける / 受ける	電話をかけたり、受けたりする基本的な機能について説明しています。
3 章　便利な使いかた	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル等の、利用できる便利な機能について説明しています。
4 章　電話帳機能を利用する	電話帳の使いかたについて説明しています。
5 章　発着信履歴機能を利用する	発着信履歴機能の使いかたについて説明しています。
6 章　その他の機能	その他の機能について、概略を記載しています。
7 章　ご参考に	故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

■ 操作説明ページの構成

章タイトル

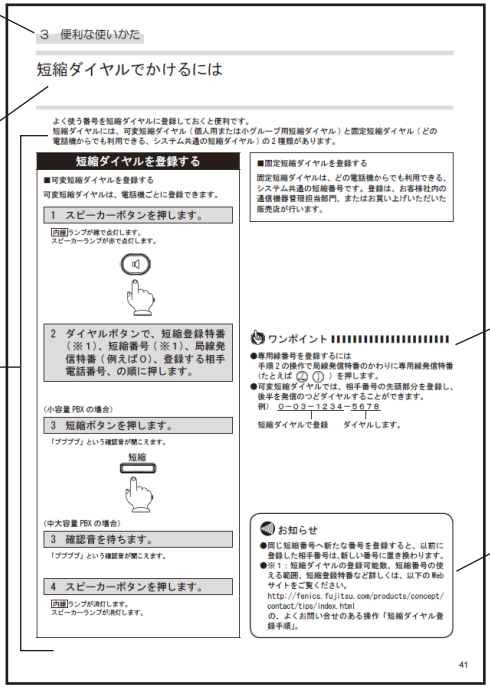
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作説明

順番に操作を説明しています。



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作のアドバイス等の補足説明を示しています。

お知らせ

この表示は、製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください..... 3
本書の見かた..... 7

1　お使いになる前に

特長..... 9
セットを確認してください..... 10
各部の名前..... 11
ディスプレイの表示について（小容量 PBX に接続した場合）. 14
ディスプレイの表示について（中大容量 PBX に接続した場合）.... 15
音色 / 音量 / ディスプレイ / 着信ランプ等の設定..... 16
　呼出音の音色を切り替える 16
　呼出音の音量を調節する 16
　スピーカーの受話音量を調節する 17
　ハンドセットの受話音量を調節する 17
　ディスプレイのコントラストを調節する 18
　ディスプレイの白黒を反転する 18
　受話音量を表示する / 消す 19
　着信ランプの色を切り替える 19
　エコモードの設定 20
　発着信時電話帳ネーム表示 20
　電話帳のセキュリティ設定 21
　着信音の音色・着信ランプの電話帳連携を設定する ... 21
ディスプレイの角度を変えるには..... 22
電話機の角度を変えるには..... 22
カラーシートの使いかた..... 23
電話機の操作方法について..... 23
接続のしかた..... 24
補聴器の使用について..... 24
特番・短縮番号について..... 25

2　電話をかける / 受ける

電話をかけるには（局線発信 / 内線発信)..... 26
　局線発信 26
　　特番でかける 26
　　局線ボタンでかける 26
　内線発信 27
　　内線でかける 27
　　専用線でかける 27
　その他 27
　　ヘッドセットで相手にかける 27
もう一度同じ相手にかけるには（リダイヤル)..... 28
相手の電話機のスピーカーで呼び出すには（音声呼出)..... 29
電話を受けるには（着信)..... 30
　　自分の電話機で受ける 30
　　局線着信を受ける 30
　　他の電話機にかかってきた電話を受ける
　　（ピックアップ）..... 30
　　ヘッドセットで電話を受ける 30
保留するには（内線保留 / 局線保留)..... 31
　内線保留 31
　局線保留 32
　　共通保留 32
　　自己保留 32
転送するには..... 33
　　遠くの席の人に転送する 33
　　他の内線に自動的に転送する（可変不在転送）..... 33

3　便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかけるには..... 35
　　ワンタッチダイヤルを登録する（小容量 PBX の場合）.. 35
　　ワンタッチダイヤルを登録する（中大容量 PBX の場合)... 36
　　ワンタッチダイヤルでかける 37
拡張ワンタッチダイヤルでかけるには..... 38
　　拡張ワンタッチダイヤルを登録する..... 38
　　登録済の拡張ワンタッチダイヤルを編集する..... 39
　　登録済の拡張ワンタッチダイヤルを消去する..... 39
　　拡張ワンタッチダイヤルでかける..... 40
短縮ダイヤルでかけるには..... 41
　　短縮ダイヤルを登録する 41
　　短縮ダイヤルでかける 42
別の内線を呼び出す（リセットシフトコール)..... 43
相手の通話が終了したら呼び返すには（内線待ち合わせ)... 44
3 人で通話するには（三者通話）..... 45
内線通話に割り込むには（割り込み)..... 46

4　電話帳機能を利用する

電話帳に登録するには..... 47
電話帳を検索するには..... 51
電話帳から発信するには..... 53
電話帳の内容を修正するには..... 54
電話帳の内容を削除するには..... 55
文字の入力について..... 56

5　発着信履歴機能を利用する

発着信履歴機能について..... 57
小容量 PBX での発信履歴操作について..... 58
小容量 PBX での着信履歴操作について..... 59
中大容量 PBX での発信履歴操作について..... 61
中大容量 PBX での着信履歴操作について..... 62

6　その他の機能

フリーアサインボタンについて..... 63
呼出音の音色を切り替えるとき..... 64

7　ご参考に

故障かな？と思ったら..... 65
仕様..... 67
アフターサービスについて..... 68

特長

DG-station 100 シリーズの特徴は以下のとおりです。本書では主に基本的な使いかたについて説明しています。その他の機能の概略については、6 章をご覧ください。（→ P63）

●見やすいバックライト付き大型ディスプレイ

全角 10 文字× 4 行、漢字表示に対応した、バックライト付き大型ディスプレイを装備しています。また、文字の視認性に配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。
（白黒反転表示機能有）
※ IP Pathfinder S はバックライトへ対応していません

●押しやすく心地よい操作感の各種ボタン

ダイヤルボタンをすり鉢状の大きなボタンにすることで操作性を高めました。さらに、視認性に配慮したボタン配置により操作をスムーズに行えます。

●抗菌加工で清潔な受話器

持ちやすさにこだわった丸い形状の受話器は、清潔感に配慮した抗菌素材を使用しているため、簡単なお手入れで快適に受話器が利用できます。また、聴覚障がい者に優しいヒアリングエイド機能を搭載しています。

● USB 接続でらくらく操作

パソコンと電話機を USB ケーブルで接続することで、専用アプリケーションから電話帳の編集が簡単にできます。

●色鮮やかな LED 着信ランプ

着信時のランプの色を発信者番号ごとに選ぶことができます。

・各 7 色 or 全色

●柔軟に登録可能な電話帳

電話帳 1 件につき 2 つの電話番号を最大 1,000 件（2,000 電話番号）まで電話帳に登録可能です。電話帳や発着信履歴から選択して、発信することができます。

●省電力機能

ライティングの ON/OFF 制御が、昼と夜で電話機ごとにできます。
※ IP Pathfinder S は省電力機能へ対応していません

・ディスプレイ表示
・ディスプレイバックライト
・ダイヤルボタンバックライト

●着信音の選択

着信時の音色を発信者番号ごとに選ぶことができます。
・リンガ 8 パターン
・メロディ 10 曲

メロディ 10 曲　1. ﾒﾗｴｯﾄ 卜長調　2. ﾌﾙｰﾄ四重奏曲より
3. ﾊﾟﾃﾞｨｷﾘ管弦楽組　4. 4 羽の白鳥の踊り　5. 草笛の踊り
6. 展覧会の絵　7. ｶﾙﾒﾝより「ﾊﾊﾞﾈﾗ」　8. ｵｰﾗﾘｰ
9. 別れの曲　10. G 線上のｱﾘｱ ニ長調
※ IP Pathfinder S は着信音のメロディに対応していません。

●安心のセキュリティ

電話帳へのアクセス時、パスワードによる登録情報の保護ができるため、1 台の電話機を複数人で利用する際の電話帳プライバシーを守ります。

セットを確認してください

■本体

DG-station 100A2（1 台）

DG-station 100B2（1 台）

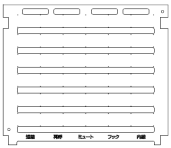
DG-station 100C2/D2/PA2/PB2（1 台）

DG-station 100E2（1 台）

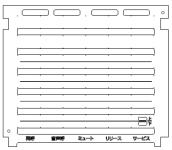
■添付品

保証書（1 部）

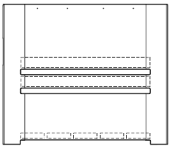
安全にお使いいただくために（1 部）



小容量 PBX 用
カラーシート（1 枚）

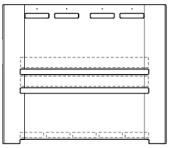


中大容量 PBX 用
カラーシート（1 枚）



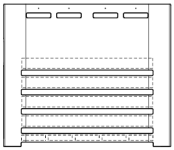
透明パネル（1 枚）

DG-station 100A2 用



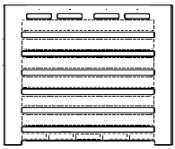
透明パネル（1 枚）

DG-station 100B2 用



透明パネル（1 枚）

DG-station 100C2/D2/PA2/PB2 用



透明パネル（1 枚）

DG-station 100E2 用

●セットに足りないものがあったり、本書に誤字・脱字があった場合などは、お買い上げになった販売店へご連絡ください。

■環境条件

	温度（℃）	湿度（% RH）
動作時	0 ～＋ 40	20 ～ 80（結露なきこと）
保存時	－ 20 ～＋ 60	5 ～ 90（結露なきこと）

各部の名前

<小容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明>

■前面図

着信ランプ

拡張ワンタッチとして使えます。(100E2 のみ)

ハンドセット　マイクロフォン（100D2/100E2 のみ）

ディスプレイの 4 段目に表示した内容を選択する場合に使用します。

フリーアサインボタン

ワンタッチ、ピックアップ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

ダイヤルボタン

MENU	設定メニューが表示され、着信音色、着信ランプ、ディスプレイ、等の設定ができます。(P16 参照)
📖	電話帳の操作ができます。
▲ ▼	■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。 ■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。 ■🔈（スピーカーボタン）を押したときに、スピーカーからの音量を調節できます。 ■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。 ■電話帳の操作ができます。 ■設定メニューの操作ができます。
○	選択した項目の決定をします。

固定機能ボタン

短　縮	短縮番号で電話をかけることや、短縮番号を登録することができます。
再　呼	最後にかけた相手（内線・外線・専用線）を呼び出すことができます。なお再呼ボタンが点灯中は、セーブナンバーダイヤル（→P.28）で登録した相手を呼び出します。
ミュート	こちらの声を相手に聞こえないようにします。
フック	続けて電話をかけるときや、番号を押し間違えたときに、受話器を戻さずに電話を切ることができます。
内　線	外線と通話中に、内線へかけることや、内線からの着信に応答することができます。
転　送	通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。
🔈	受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手がでたら受話器を上げずにそのまま会話することができます。(ハンズフリー機能：100D2/100E2 のみ)
保　留	通話中の相手を保留することができます。

注）FAX 機能付電話機と通話中に近くで他の多機能電話機に呼出音が鳴ったとき、音色によっては、FAX 検出信号と認識し通話中に FAX へ切り替わる場合があります。
（初期値の音色では問題ございません。）

■底面図

電話機コード差込口

ハンドセットコード差込口

■背面図

録音ジャック

USB コネクタ

※小容量 PBX：IP Pathfinder S

各部の名前

<中大容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明>

■前面図

着信ランプ

拡張ワンタッチとして使えます。(100E2 のみ)

ディスプレイの 4 段目に表示した内容を選択する場合に使用します。

フリーアサインボタン

ワンタッチ、ピックアップ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

ダイヤルボタン

MENU　設定メニューが表示され、着信音色、音量、着信ランプ、ディスプレイ、等の設定ができます。(P16 参照)

電話帳の操作ができます。

■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。
■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。
■（スピーカーボタン）を押したときに、スピーカーからの音量を調節できます。
■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。
■電話帳の操作ができます。
■設定メニューの操作ができます。

選択した項目の決定をします。

固定機能ボタン

再　呼	最後にかけた相手（内線・外線・専用線）を呼び出すことができます。
音声呼	音声で相手を呼び出すことができます。（相手の電話機は同一構内の専用電話機に限定）
ミュート	こちらの声を相手に聞こえないようにします。
リリース	受話器を置かずに電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。
サービス	ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。
転送	通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。
	受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手がでたら受話器を上げずにそのまま会話することができます。（ハンズフリー機能：100D2/100E2 のみ）
保　留	通話中の相手を保留することができます。

ハンドセット　マイクロフォン(100D2/100E2 のみ)

■底面図

電話機コード差込口　ハンドセットコード差込口

■背面図

USB コネクタ

録音ジャック

・ボタンモジュール接続用端子がカバーで塞いである場合は、取り除いてご使用ください。

注）FAX 機能付電話機と通話中に近くで他の多機能電話機に呼出音が鳴ったとき、音色によっては、FAX 検出信号と認識し通話中に FAX へ切り替わる場合があります。（初期値の音色では問題ございません。）

※中大容量 PBX：LEGEND-V S100、LEGEND-V
注）LEGEND-V S100 は回線容量としては小容量 PBX と同等ですが、機能面では中大容量 PBX と同等なため、本書では中大容量 PBX に含めて記載しています。

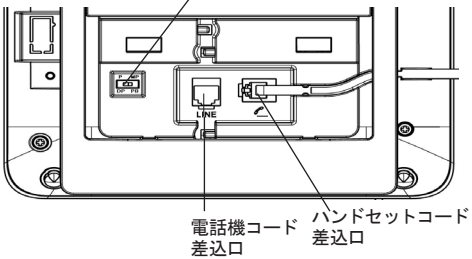
各部の名前

＜DG-station 100PA2/100PB2 の外観図および各ボタンの説明＞

■前面図

<小容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明＞及び<中大容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明＞をご覧ください。

■底面図



DG-station 100PA2

DP/PB 切替スイッチ　停電用アナログ回線のご契約時の内容により、局線のダイヤル種別(DP20pps､PB) を下記のスイッチで設定します。（初期値：PB ）

- ◆ DP：停電時の送出信号が 20pps
- ◆ PB：停電時の送出信号が PB

DG-station 100PB2

P/MP 切替スイッチ　停電用 INS 回線のご契約時の内容により、インタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別 (P-P または P-MP 常時 / 呼毎）をスイッチで設定します。（初期値：MP ）

- ◆ MP：Point to Multi Point 常時 / 呼毎の場合
- ◆ P ：Point to Point の場合

DG-station 100PA2/100PB2 の停電動作について

■ DG-station 100PA2/100PB2 共通

・停電時は､”電話をかける（局線発信）”・”電話を受ける（局線応答）”以外の機能（ディスプレイ表示、各種ランプ、内線通話、高音量ベルなど）は使用できません。

・通話中の、通電から停電、停電から復電への動作について

【通電から停電の場合】

通電時の通話中に停電となった場合、その通話は切断され、数秒後にアナログ /INS 回線側の発信音が聞こえます。ディスプレイ画面表示は消えます。

【停電から復電の場合】

停電時にアナログ /INS 電話機として通話中に復電となった場合、その通話は切断されます。しばらくすると、内線の発信音が聞こえます。

・停電時のアナログ /INS 回線に対する、ボイスワープ等の付加サービスは使用できません。

■ DG-station 100PB2

・P/MP 切替スイッチは、停電時にご使用する INS 回線のご契約時のインタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別に合わせて、次のように設定します。

- ◆ MP：Point to Multi Point 常時 / 呼毎の場合（初期値）
- ◆ P ：Point to Point の場合

本スイッチは、通電時に電話機を起動する際に設定が有効となります。本スイッチを変更した場合、電話機コードを一旦抜いて、再度接続してください。

・DSU から (PBX 経由の)DG-station 100PB2 までの配線長は 300m(0.5 φ構内ケーブル）になります。INS1 回線に対して 1 台の DG-station 100PB2 のみを接続可能です。

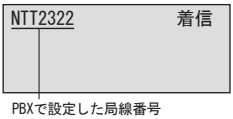
ディスプレイの表示について

（小容量 PBX に接続した場合）

■カレンダー時刻表示

■着信時の表示

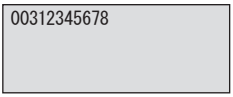
・発信電話番号表示サービス対応なしのとき



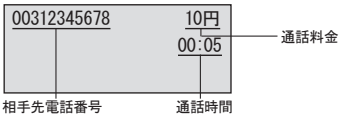
・発信電話番号表示サービス対応ありのとき

■発信時の表示

・局線発信したとき



■通話料金・通話時間表示



■ネームディスプレイ

・あらかじめデータ設定をしておくと、相手のディスプレイに自分の内線番号と名前を同時に表示することができます。
たとえば、内線相互通話時の着信側の表示は下記のように表示します。

ワンポイント

●ディスプレイ表示が見えにくいときにはディスプレイ表示部を立ててご使用ください。（→ P22）
●ディスプレイの明るさを調節するには調整ボタン（▲▼）を押して調節します。（→ P18）

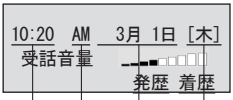
お知らせ

● DG-station 100A2 にディスプレイはありません。

ディスプレイの表示について

（中大容量 PBX に接続した場合）

■カレンダー時刻表示



時間　午前:AM /午後:PM　月日　曜日

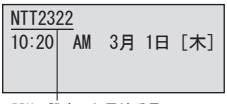
（LEGEND-V/LEGEND-V S100 以外の場合）

時間　午前:AM /午後:PM　月日　曜日

（LEGEND-V/LEGEND-V S100 の場合）

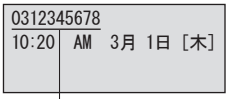
■着信時の表示

・発信電話番号表示サービス対応なしのとき



PBXで設定した局線番号

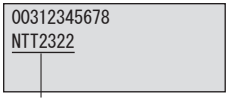
・発信電話番号表示サービス対応ありのとき



相手先電話番号

■発信時の表示

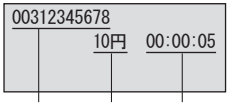
・局線発信したとき



PBXで設定した局線番号

■通話料金・通話時間表示

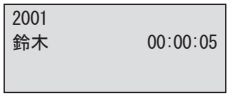
・局線発信したとき



相手先電話番号　通話料金　通話時間

■ネームディスプレイ

・あらかじめデータ設定をしておくと、相手のディスプレイに自分の内線番号と名前を同時に表示することができます。
たとえば、内線相互通話時の着信側の表示は下記のように表示します。



電話帳に登録している番号から着信があった場合は、ネームディスプレイとは別に電話帳に登録されている名前を下から 2 行目に表示します。この機能は設定メニューにより、ON/OFF できます。（→ P20）

ワンポイント

●ディスプレイ表示が見えにくいときにはディスプレイ表示部を立ててご使用ください。（→ P22）
●ディスプレイの明るさを調節するには調整ボタン（▲▼）を押して調節します。また、設定メニューでの調整もできます。（→ P18）

お知らせ

● DG-station 100A2 にディスプレイはありません。
● LEGEND-V S100 ではネームディスプレイを使用できません。

音色 / 音量 / ディスプレイ / 着信ランプ等の設定

設定メニューや十字キーの上下ボタンを使用することにより、各種設定を行うことができます。設定メニューを使うには十字キーの MENU キーを押します。表示メニューの選択には上下キーを使い、中央ボタンで実行します。設定メニューから抜けるには、カレンダー時刻表示が出るまで戻るキーを押します。
注：DG-station 100A2 にはディスプレイが無いため、設定メニューは使用できません。

呼出音の音色を切り替える

呼出音の音色は中大容量 PBX ではリンガ９種類（無音を含む）とメロディ 10 曲、小容量 PBX ではリンガ 6 種類から選べます。小容量 PBX は、十字キーの中央ボタンを押すことで呼出音が鳴っているときに呼出音を変更できます。中大容量 PBX は設定メニューで設定します。但し、DG-station 100A2 は小容量と同じ方法で設定します。
以下は中大容量 PBX を使用時の DG-station 100A2 以外の設定方法です。
内線着信と外線着信それぞれに設定できます。
内線着信 / 外線着信以外の呼出音の音色を変更するには、着信呼出中に十字キーの中央ボタンを押下します。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「着信音色設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。着信音色設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い「内線着信音」又は「外線着信音」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   内線着信音色設定メニュー又は外線着信音色設定メニューが表示されます。
5. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾘﾝｶﾞ」又は「ﾒﾛﾃﾞｨ」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   設定可能なリンガ又はメロディが表示されます。
6. 十字キーの上下ボタンを使い設定するリンガ又はメロディを選択後＊、十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

DG-station 100B2 ではメロディ設定ができません。
＊：リンガ / メロディを選択するとその音を聴くことができます。

呼出音の音量を調節する

呼出音の音量は中大容量 PBX では 4 段階、小容量 PBX はで 3 段階の調節ができます。
中大容量 PBX では設定メニューによる設定と着信呼出中の上下キーによる設定ができますが、小容量 PBX では着信呼出中の上下キーによる設定のみ可能です。

●設定メニューによる調節

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「着信音量設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   着信音量設定画面が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い着信音量を調節します。初期値は大きい方から 2 段目です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

●着信呼出中の上下キーによる調節

1. 着信呼出中に十字キーの上下ボタンにより、音量を調節します。
   音量を上げる時は▲を押します。
   音量を下げる時は▼を押します。

スピーカーの受話音量を調節する

スピーカーの受話音量は 8 段階の調節ができます。
中大容量 PBX では設定メニューによる設定とスピーカー受話中の上下キーによる設定ができますが、小容量 PBX ではスピーカー受話中の上下キーによる設定のみ可能です。

●設定メニューによる調節

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「ｽﾋﾟｰｶ音量設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ｽﾋﾟｰｶ音量設定画面が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使いスピーカー受話音量を調節します。初期値は小さい方から 4 段目です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

●スピーカー受話中の上下キーによる調節

1. スピーカー受話中に十字キーの上下ボタンにより、音量を調節します。
   音量を上げる時は▲を押します。
   音量を下げる時は▼を押します。

ハンドセットの受話音量を調節する

ハンドセットの受話音量は中大容量 PBX では 9 段階、小容量 PBX では 7 段階の調節ができます。
中大容量 PBX では設定メニューによる設定とハンドセットでの通話中の上下キーによる設定ができますが、小容量 PBX ではハンドセットでの通話中の上下キーによる設定のみ可能です。

●設定メニューによる調節

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ音量設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ音量設定画面が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使いハンドセットの受話音量を調節します。初期値は小さい方から 4 段目です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

●ハンドセットでの通話中の上下キーによる調節

1. ハンドセットでの通話中に十字キーの上下ボタンにより、受話音量を調節します。
   音量を上げる時は▲を押します。
   音量を下げる時は▼を押します。

ディスプレイのコントラストを調節する

ディスプレイのコントラストは 8 段階の調節ができます。中大容量 PBX では設定メニューによる設定と通話をしていない時の上下キーによる設定ができますが、小容量 PBX では通話をしていない時の上下キーによる設定のみ可能です。

●設定メニューによる調節

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「LCD 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   LCD 設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い「コントラスト設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   コントラスト設定画面が表示されます。
5. 十字キーの上下ボタンを使いディスプレイのコントラストを調節します。初期値は 5（薄い方から 5 段目）です。
6. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

●通話をしていない時の上下キーによる調節

1. 通話をしていない時、呼出中で無い時に十字キーの上下ボタンにより、ディスプレイのコントラストを調節します。
   コントラストを濃くする時は▲を押します。
   コントラストを薄くする時は▼を押します。

ディスプレイの白黒を反転する

ディスプレイの白黒を反転することができます。設定メニューで設定します。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「LCD 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   LCD 設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い「白黒反転設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   白黒反転設定画面が表示されます。
5. 十字キーの上下ボタンを使い、白黒反転する場合は「ON」を、白黒反転しない場合は「OFF」を選択します。初期値は「OFF」です。
6. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

受話音量を表示する / 消す

通話をしていない時のディスプレイへの受話音量表示の ON/OFF を設定します。
設定メニューで設定します。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「LCD 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   LCD 設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い「受話音量表示設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   受話音量表示設定画面が表示されます。
5. 十字キーの上下ボタンを使い、受話音量を表示する場合は「ON」を、表示しない場合は「OFF」を選択します。初期値は「ON」です。
6. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

着信ランプの色を切り替える

着信ランプの色は 7 色又は全色（レインボー）から選べます。設定メニューで設定します。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「着信ランプ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   着信ランプ設定画面が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い使用する色を選択します。初期値は赤です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

エコモードの設定

エコモードを有効にすることにより、ディスプレイのバックライトの ON/OFF、キーのバックライトの ON/OFF、待機状態のディスプレイ表示の ON/OFF を設定できます。設定は設定メニューで行い、昼間と夜間でそれぞれ設定できます。
小容量 PBX ではエコモードの設定はできません。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「ECO 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   ECO 設定メニューが表示されます。
3. ECO モードを有効にするには十字キーの上下ボタンを使い「有効」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。初期値は「無効」です。
   詳細設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い「昼用 ECO 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   次の設定画面が表示されます。
5. 十字キーの上下ボタンを使い「LCD ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ ON」又は「LCD ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ OFF」を選択した後、十字キーの中央ボタンを押します。次の設定画面が表示されます。
6. 十字キーの上下ボタンを使い「KEY ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ ON」又は KEY ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ OFF」を選択した後、十字キーの中央ボタンを押します。次の設定画面が表示されます。
7. 十字キーの上下ボタンを使い「LCD 表示 ON」又は LCD 表示 OFF」を選択した後、十字キーの中央ボタンを押します。詳細設定メニューが表示されます。
8. 夜用 ECO 設定を行う場合は、十字キーの上下ボタンを使い「夜用 ECO 設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   以降の操作は昼用 ECO 設定と同様です。
   設定を終了するには「戻る」ボタンを押します。

発着信時電話帳ネーム表示

発信時及び着信時に、電話帳を検索し、登録してある名前を表示するかしないかを設定します。小容量 PBX では着信時のネーム表示は出来ません。ダイヤル操作による発信ではネーム表示されません。設定メニューで設定します。

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「電話帳設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   電話帳設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「発着信時ネーム設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。発着信時ネーム設定画面が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い、発着信時ネーム表示をする場合は「ON」を、表示をしない場合は「OFF」を選択します。初期値は「ON」です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

電話帳のセキュリティ設定

電話帳にパスワードによるロックをかけるかどうかを設定します。設定メニューで設定します。パスワードは8文字固定です。使用可能な文字は半角の数字、英字（大文字／小文字）、記号（＃＄％＆＊．：？＠＿）で英字／数字／記号の3つが混合している必要があります。

1. 十字キーのMENUキーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「電話帳設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   電話帳設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「セキュリティ設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。セキュリティ設定メニューが表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い、パスワードによるロックを行う場合は「有効」を、ロックをしない場合は「無効」を選択します。初期値は「無効」です。
5. 十字キーの中央ボタンを押します。有効を選択した場合、パスワード登録画面が表示されます。
6. パスワードを入力して、十字キーの中央ボタンを押します。パスワード確認画面が表示されます。
7. 先程入力したのと同じパスワードを入力して、十字キーの中央ボタンを押します。
   パスワードが登録され、電話帳設定メニューに戻ります。

着信音の音色・着信ランプの電話帳連携を設定する

着信時の音色・ランプの電話帳連携の有効／無効を設定します。無効を選択した場合は、着信時の音色・ランプは電話帳連携を行いません。

※DG-station 100A2/B2/C2/D2/E2/PA2/PB2は設定可能
　DG-station 100A/B/C/D/E/PA/PBは設定不可

1. 十字キーのMENUキーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「電話帳設定」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   電話帳設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い「着信音色・ﾗﾝﾌﾟ条件」を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。着信音色・ﾗﾝﾌﾟ条件が表示されます。
4. 十字キーの上下ボタンを使い、電話帳連携を行う場合は「有効」を、電話帳連携を行わない場合は「無効」を選択します。
   初期値は「有効」です。
5. 十字キーの中央ボタンを押して設定を登録します。

※電話帳連携時の着信音色の種類と着信ランプの色の設定は、4. 電話帳機能を利用する
(7) 着信音色を登録する
(8) 着信ランプの色を登録する
（→P48,49）をご覧ください。

ディスプレイの角度を変えるには

ディスプレイの表示内容が見えにくい場合は、ディスプレイ表示部を立ててご使用になると見やすくなります。

お知らせ

● DG-station 100A2 にディスプレイはありません。

■ディスプレイ表示部を立てて使用する

1　ディスプレイ表示部を持ちます。

2　ディスプレイ表示部の上部を手前へ引くように動かします。

⚠ 注意　指や爪などをけがしないようご注意願います。

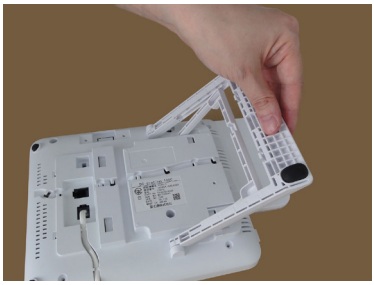
電話機の角度を変えるには

チルト足を立てることで、電話機の角度を変えてご使用になることができます。

■チルト足を立てて使用する

1　チルト足を持ち上げます。

2　チルト足を電話機側へ押し込みます。
（カチッと音が聞こえ、固定されます）
チルト足を戻すことにより角度を 5 段階（10°，20°，30°，40°，55°）に調節ができます。



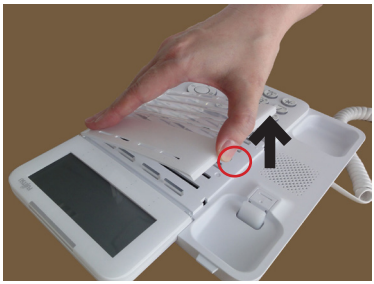
⚠ 注意　指や爪などを挟んでけがしないようご注意願います。

カラーシートの使いかた

透明パネルの下にカラーシートが入っています。
カラーシートには、フリーアサインボタンに設定した内容（ワンタッチダイヤルの宛先など）を記入してご使用になると便利です。

■透明パネルを外す

電話機の手前側（○で囲んでいる部分）を矢印方向に透明パネルを上げると簡単に取り外すことができます。



■透明パネルを付ける

最初に、電話機の奥側（○で囲んでいる部分）に爪 2 ヶ所を溝に差し込み、透明パネルを電話機に取り付けます。

⚠ 注意　指や爪などをけがしないようご注意願います。

電話機の操作方法について

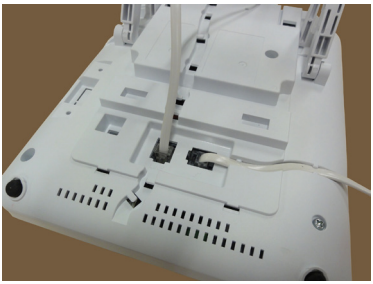
DG-station100 シリーズは小容量 PBX、中大容量 PBX で操作方法やランプ表示が異なる場合がございます。
操作方法やランプ表示が異なる場合は、（小容量 PBX の場合）や（中大容量 PBX の場合）等というように記載しておりますので、本書をよくお読みになり、操作方法をお間違えにならないようご注意願います。

なお、特に（小容量 PBX の場合）や（中大容量 PBX の場合）等と記載されていない場合は、小容量 PBX、中大容量 PBX 共に共通の操作になります。

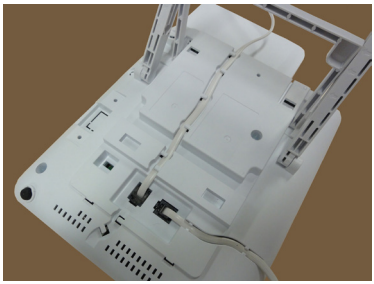
接続のしかた

電話機コードを接続します。

1. 電話機コードを電話機コード差込口に接続します。



2. コード押さえに電話機コードを通します。



・録音ジャックにプラグを差し込む際は必ず「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

補聴器の使用について

DG-station 100 シリーズはヒアリングエイドに対応していますので、補聴器が誘導コイル（T コイル）を内臓していれば、この機能を利用できます。
使用の際には受話器のスピーカー部分を補聴器に近づけるようにしてください。
詳細については、補聴器の取扱説明書を参照してください。

特番・短縮番号について

本書に記載した各種「特番」、「短縮番号」は一例を示しています。ご使用になるときは、管理者（※1）から通知された番号をご使用ください。通知がない場合は、管理者（※1）にご確認ください。短縮ダイヤルの登録可能数、短縮番号の使える範囲、短縮登録特番など詳しくは、以下 Web サイトをご覧ください。

http://www.fujitsu.com/jp/products/network/ip-telephony-collaboration/ip-telephony/contact/tips/

の、よくお問い合せのある操作「短縮ダイヤル登録手順」。
以下に代表的な特番、短縮番号について説明します。

■特番

名称	管理者（※1）登録	お客様登録	内　　容
局線発信特番	○		局線にかけるとき、この番号を押すと局線に接続できます。 例：０３－１２３４－５６７８にかけるとき ０－０３－１２３４－５６７８ └── 局線発信特番
専用線発信特番	○		専用線にかけるとき、この番号を押します。 例：専用線番号７１の事業所にかけるとき ７１－１２３４ └── 内線番号 └── 専用線発信特番

■短縮番号

名称		管理者（※1）登録	お客様登録	内　　容
固定短縮	短縮番号	○		短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。全員で共通に使える番号で、管理者（※1）が番号登録を行います。個人で勝手に変更はできません。
	発信特番	○		固定短縮ダイヤルを使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：固定短縮番号２３に登録された相手にかけるとき ６－２３ └── 発信特番
可変短縮	短縮番号		○	短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。管理者（※1）が設定した範囲（例えば００～１９）内で、電話機ごとに登録することができます。
	登録特番	○		可変短縮番号を登録するときに、登録する短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：０３－１２３４－５６７８を短縮番号１３に登録するとき １７－１３－０－０３－１２３４－５６７８ └── 登録特番
	発信特番	○		可変短縮番号を使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：可変短縮番号１３に登録された相手にかけるとき ５－１３ └── 発信特番

※1: お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店

電話をかけるには（局線発信 / 内線発信）

局線発信

特番でかける

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで局線発信特番（たとえば　0　）を押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。

3　ダイヤルボタンで相手の番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

4　相手の方が出たらお話しします。

局線 ボタンでかける

フリーアサインボタンに局線ボタンが割り付けられているときは、下記の操作で電話をかけます。

1　局線ボタンを押します。

スピーカーからの「ツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで電話番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3　ハンドセットを上げます。

4　相手の方が出たらお話しします。

ワンポイント

●スピーカーボタンでかける
　スピーカーボタンを押してダイヤルします。
　呼出音が聞こえたらハンドセットを上げます。
●ハンズフリーでかける（100D2/100E2 のみ）
　スピーカーボタンを押してダイヤルします。
　相手の方が出たらスピーカーとマイクでお話しします。

お知らせ

●発信音や話中音などは、PBX の機種や設定内容によって本書記載の音色とは異なる場合があります。

内線発信

内線でかける

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで内線番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3　相手の方が出たらお話しします。

専用線でかける

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで専用線発信特番（たとえば 7 1 ）を押します。

3　ダイヤルボタンで内線番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

4　相手の方が出たらお話しします。

その他

ヘッドセットで相手にかける

1　ヘッドセットボタンを押します。

ヘッドセットランプが赤で点灯します。

中大容量 PBX の場合は、手順 2 へ進んでください。
小容量 PBX の場合は、手順 3 へ進んでください。

2　スピーカーボタンを押します。

「ツーツー」という発信音を確認してください。
スピーカーランプが赤で点灯します。

3　ダイヤルボタンで相手番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

4　相手の方が出たらお話しします。

ワンポイント

●ヘッドセットをお使いになる前の準備
　①ハンドセットコード差込口から、ハンドセットコード（受話器コード）を取り外します。（取り外したハンドセットは電話機本体に置いたまま、使用します。）
　②ヘッドセットを、ハンドセットコード差込口に接続します。
　③フリーアサインボタンにヘッドセットボタンを割付けます。
●ヘッドセットボタンは押すごとに点灯←→消灯　が切替ります。
●ヘッドセット使用時に受話音量が大きいと感じた場合は、
　小容量 PBX の場合
　・調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。
　中大容量 PBX の場合
　・電話機本体からハンドセットを外した状態で、調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。

お知らせ

●ヘッドセットボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

もう一度同じ相手にかけるには（リダイヤル）

最後にかけた相手にもう一度かけ直すときの操作です。

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 再呼ボタンを押します。

最後にかけた電話番号が自動的にダイヤルされます。
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たらお話しします。

ワンポイント

●再呼ボタンのランプが点灯している場合は、セーブナンバーダイヤルが登録されている場合があります。
（→ P65）を参照してください。
●セーブナンバーダイヤルとは
通話中に消灯している再呼ボタンを押して点灯させると、その相手の電話番号を再呼ボタンに登録（再呼ボタン点灯）する機能です。
●セーブナンバーダイヤル機能を使用する場合は、設定が必要です。設定は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

相手の電話機のスピーカーで呼び出すには（音声呼出）

相手の名前をスピーカーから呼び出すことができます。

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで内線番号を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3　音声呼ボタンを押します。

「ピピピピ」という予告音が聞こえます。

4　相手の方の名前を呼びます。

相手の方の電話機スピーカーから呼び出す声が流れます。
呼び出された方がハンドセットを上げて応答したら、用件を伝えます。

＜呼び出された方＞

■スピーカーから呼び出す声が聞こえているときに

1　ハンドセットを上げてお話しします。

ワンポイント

●相手の電話機がハンズフリー機能付きの場合、呼び出された相手は
- ・中大容量 PBX の場合、スピーカボタンを押して電話機に向かって話すだけで応答できます。
- ・小容量 PBX の場合、電話機に触れずに、電話機に向かって話すだけで応答できます。（100D2/100E2 のみ）

お知らせ

●呼び出した相手が応答する前に、音声呼ボタンを押したときは、通常の呼出音に戻ります。

●小容量 PBX の場合、音声呼ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

電話を受けるには（着信）

自分の電話機で受ける

1　呼出音が鳴ります。

2　ハンドセットを上げてお話しします。

局線着信を受ける

1　呼出音が鳴ります。

局線ランプが赤で速い点滅をしています。

2　ハンドセットを上げます。

電話機の設定によっては、ここで相手の方とお話しできます。
（局線ランプが緑の点灯に変わります。）

3　赤で点滅している局線ボタンを押して相手の方とお話しします。

局線ランプが緑で点灯します。

他の電話機にかかってきた電話を受ける（ピックアップ）

同一ピックアップグループの場合の操作です。

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ピックアップボタンを押します。

3　相手の方が出たらお話しします。

ヘッドセットで電話を受ける

1　呼出音が鳴ります。

2　ヘッドセットボタンを押します。

ヘッドセットランプが赤で点灯します。
小容量 PBX の場合は、そのままお話しします。

中大容量 PBX の場合は、手順 3 へ進んでください。

3　スピーカーボタンを押してお話しします。

スピーカーランプが橙で点灯します。

ワンポイント

●内線と局線の両方に着信した場合は
局線ボタンまたは内線ボタンを押してからハンドセットを上げると、その着信に応答できます。

●ヘッドセット使用時に受話音量が大きいと感じた場合は、
小容量 PBX の場合
・調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。
中大容量 PBX の場合
・電話機本体からハンドセットを外した状態で、調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。

お知らせ

●ヘッドセットボタンとピックアップボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。またピックアップ機能は、自分の内線電話機と他の電話機が同じピックアップグループにあらかじめ登録しておく必要があります。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

保留するには（内線保留 / 局線保留）

相手の方とお話し中に、調べものなどで通話を一時保留することができます。保留中は相手の方には保留メロディーが流れます。

内線保留

1　通話中に保留ボタンを押します。

内線ランプが緑で遅く点滅します。

2　ハンドセットを置きます。

3　通話に戻るときはハンドセットを上げ、内線ボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯します。

局線保留

共通保留

共通保留にしておくと、ほかの人も保留に応答できます。

1　保留ボタンを押します。

局線ランプが緑で遅く点滅します。（他の電話機は局線ランプが赤で遅く点滅します。）
相手の方には保留メロディーが流れます。

2　ハンドセットを置きます。

呼び出された方に共通保留にしたことを口頭で伝えます。

＜呼び出された方＞

1　ハンドセットを上げます。

2　赤で遅く点滅している局線ボタンを押してお話しします。

自己保留

自己保留にしておくと、保留操作した電話機からのみ保留に応答できます。

1　保留ボタンを続けて２回押します。（１秒以内）

局線ランプが緑で遅く点滅します。（他の電話機は局線ランプが赤で点灯します。）
相手の方には保留メロディーが流れます。

2　ハンドセットを置きます。

再び通話するときは、点滅している局線ボタンを押し、ハンドセットを上げます。

ワンポイント

●呼返音が鳴ったときは
一定時間以上保留状態が続くと、呼返音が鳴りますので、ハンドセットを上げてください。通話に戻ります。
電話機の設定によっては、ハンドセットを上げても局線ボタンが点滅のままの場合があります。そのときは点滅している局線ボタンを押してください。

転送するには

遠くの席の人に転送する

■通話中に

1　転送ボタンを押します。

相手の方には保留メロディーが流れます。

2　ダイヤルボタンで転送先の内線番号を押します。

3　転送先の方が応答したら転送することを伝えます。

4　ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●保留中の相手とのお話しに戻るには
もう一度、転送ボタンを押します。
また、ダイヤル操作を間違えたときは、もう一度転送ボタンを押し、1からやりなおします。

お知らせ

●不在転送ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

他の内線に自動的に転送する（可変不在転送）

自分にかかってきた電話を会議室や離席先の内線電話に直接転送させることができます。

■不在転送する内線電話を登録する

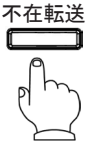
転送先の内線電話をあらかじめ登録しておきます。
ここでは自分の席から登録する方法を説明します。

1　スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯し、スピーカーランプが赤で点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　不在転送ボタンを押します。

（小容量 PBX の場合）
不在転送ランプが赤で点灯します。
（中大容量 PBX の場合）
不在転送ランプが赤で点滅します。



3　ダイヤルボタンで転送先の内線番号を押します。

「ププププ」という確認音が聞こえます。
不在転送ランプが赤で点灯します。

4 スピーカーボタンを押します。

内線ランプ、スピーカーランプが消灯します。
不在転送される内線番号が登録され、以降の着信は登録先へ転送されます。

お知らせ

- 登録後の自分の電話機への着信は、転送先の電話機に着信します。
- 可変不在転送登録中の電話機からも発信できます。

■不在転送を解除する

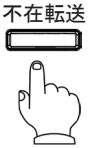
自分の席へ戻ったら、忘れずに登録を解除しておきます。

1 スピーカーボタンを押します。

「ツツーツツー」という発信音を確認してください。

2 不在転送ボタンを押します。

「ププププ」という確認音が聞こえます。
不在転送ランプが消灯します。



3 スピーカーボタンを押します。

不在転送が解除されます。

ワンタッチダイヤルでかけるには

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと便利です。
局線の電話番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。
ワンタッチダイヤルには次の 3 種類があります。

ワンタッチダイヤルの種類	内　　容
フリーワンタッチ発信	よく利用する特番および局線、専用線の相手先番号をボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
内線ワンタッチ発信	内線番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
短縮ワンタッチ発信	登録してある短縮番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき

ワンタッチダイヤルを登録する（小容量 PBX の場合）

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

1　スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯し、スピーカーランプが赤で点灯します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。

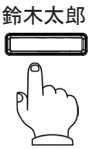
2　ダイヤルボタンでワンタッチ登録特番（たとえば 1 8 0 1）を押します。

内線ワンタッチや短縮ワンタッチに登録する場合は特番１８０１、フリーワンタッチに登録する場合は特番１８０７を押します。

3　登録するワンタッチボタンを押します。

フリーアサインボタンでワンタッチ登録に割り当てられている中から、登録するワンタッチボタンを選択します。
詳しくは、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
ワンタッチランプが赤で点灯します。

（例）



4　ダイヤルボタンで登録する番号を押します。

・フリーワンタッチ発信の場合は、局線発信特番（または専用線発信特番）－相手番号を押します。
・内線ワンタッチ発信の場合は、内線番号を押します。
・短縮ワンタッチ発信の場合は、短縮発信特番－短縮番号を押します。

5　確認音を待ちます。

「プププ」という確認音が聞こえます。

6　スピーカーボタンを押します。

ワンタッチランプが消灯します。
スピーカーランプが消灯します。

お知らせ

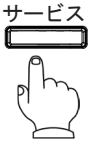
●フリーワンタッチボタンと内線ワンタッチボタンと短縮ワンタッチボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ワンタッチダイヤルを登録する（中大容量 PBX の場合）

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

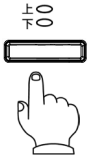
1　サービスボタンを押します。

サービスランプが赤で点滅します。



2　上下選択ボタンで上段に登録するか下段に登録するか選択します。

・上下ランプで選択側を表示します。
・上下選択ボタンがない機種もあります。その場合は手順 1 に続けて手順 3 へ進んでください



3　登録するワンタッチボタンを押します。

フリーアサインボタンでワンタッチ登録に割り当てられている中から、登録するワンタッチボタンを選択します。
詳しくは、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
サービスランプが赤で点灯します。

4　ダイヤルボタンで登録する番号を押します。

・フリーワンタッチ発信の場合は、局線発信特番（または専用線発信特番）－相手番号を押します。
・内線ワンタッチ発信の場合は、内線番号を押します。
・短縮ワンタッチ発信の場合は、短縮発信特番－短縮番号を押します。

5　サービスボタンを押します。

サービスランプが消灯します。

ワンポイント

●ワンタッチボタン 1 つに上下 2 つまでの相手番号を登録できます。
切替は上下ボタンで行います。ただし、100A2、100B2 ではワンタッチボタン 1 つに 1 つの登録になります。
●登録した局線の相手番号を見られたくないときは番号の前後にミュートボタンを押してください。発信時には“×××…”が表示されます。
●登録番号の入力を誤ったときは
小容量 PBX の場合
・再度入力操作をはじめからやり直してください。
中大容量 PBX の場合
・リリースボタンを押してください。入力を取り消すことができます。
●登録した相手の名前などをキー表示シールに書いて、ワンタッチボタンの上または下に貼ってお使いください。

お知らせ

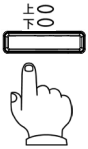
●同じワンタッチボタンへ新たな番号を登録すると、以前に登録した相手番号は新しい番号に置き換わります。

ワンタッチダイヤルでかける

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

1　上下選択ボタンで上段、下段を選択します。

上下選択ボタンがない機種、及び小容量 PBX の場合は手順 1 を省略して手順 2 へ進みます。

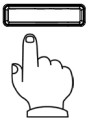


2　ワンタッチボタンを押します。

スピーカーからの「トゥルルル」という呼出音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯します。
スピーカーランプが赤で点灯します。

（例）

鈴木太郎



3　ハンドセットを上げます。

スピーカーランプが消灯します。

4　相手の方が出たらお話しします。

拡張ワンタッチダイヤルでかけるには

よくかける番号を拡張ワンタッチダイヤルに登録しておくと便利です。
100E2 のみでご使用になることができます。

拡張ワンタッチダイヤルに登録できる情報	用途
ダイヤル情報（0 ～ 9、*、#）	よく利用する相手先番号（局線、専用線、内線番号、短縮番号）を登録して、ワンタッチで電話をかける。
転送情報	相手先番号の前に転送情報を登録して、ワンタッチで転送する。
ポーズ情報	ダイヤル情報の前後にポーズ情報を登録して、ワンタッチで間隔を空けながらダイヤルする。1 つのポーズで 0.5 秒の間合いをとる。

拡張ワンタッチダイヤルを登録する

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「拡張ワンタッチ設定」 を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   拡張ワンタッチ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い、拡張ワンタッチのボタン位置を示す 01 ～ 12 を選択します。
4. 「編集」を選択してボタン位置を決定します。
   ボタン位置決定後、選択している拡張ワンタッチボタンのランプが赤で点灯します。
5. ダイヤルボタン（数字 /*/#)、転送ボタン、保留ボタンを使い、拡張ワンタッチダイヤル情報を入力します。
6. 十字キーの中央ボタンを押します。
   「登録しました」が表示されます。

ワンポイント

- 拡張ワンタッチダイヤルボタン 1 つにつき、1 件の情報を登録できます。
- 転送情報について
  転送情報の入力は、転送ボタンを押します。
  （ディスプレイに「/」が表示されます）
  登録情報の先頭のみに登録できます。
  1 件の拡張ワンタッチ情報につき、1 個の転送情報を登録できます。
- ポーズ情報について
  保留ボタンで登録します。
  （ディスプレイに「-」が表示されます）
  1 件の拡張ワンタッチ情報に登録できるポーズ情報の数に制限はありません。

登録済の拡張ワンタッチダイヤルを編集する

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「拡張ワンタッチ設定」 を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   拡張ワンタッチ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い、拡張ワンタッチのボタン位置を示す 01 ～ 12 を選択します。
4. 「編集」を選択します。
   選択している拡張ワンタッチボタンのランプが赤で点灯します。
5. 消去、ダイヤルボタン（数字 /*/#)、転送ボタン、 保留ボタンを使って、拡張ワンタッチダイヤル情報を編集します。
6. 十字キーの中央ボタンを押します。
   「登録しました」が表示されます。

登録済の拡張ワンタッチダイヤルを消去する

1. 十字キーの MENU キーを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. 十字キーの上下ボタンを使い「拡張ワンタッチ設定」 を選択後、十字キーの中央ボタンを押します。
   拡張ワンタッチ設定メニューが表示されます。
3. 十字キーの上下ボタンを使い、拡張ワンタッチのボタン位置を示す 01 ～ 12 を選択します。
4. 「消去」を選択します。
5. 「1 件」か「全件」を選択します。
6. 「はい」を押します。
   「消去しました」が表示されます。

ワンポイント

● 「編集」「消去」「1 件」「全件」の選択は、ディスプレイ 4 段目に表示される「編集」「消去」「1 件」「全件」の下に位置するキーを押します。

拡張ワンタッチダイヤルでかける

1. 拡張ワンタッチダイヤルボタンを押します。
   スピーカからの「トゥルルル」という呼出音を確認してください。内線ランプが緑で点灯します。スピーカランプが赤で点灯します。
2. ハンドセットを上げます。
   スピーカランプが消灯します。
3. 相手の方が出たらお話します。

ワンポイント

●左記の 1 と 2 の順番を逆に操作しても、発信できます。

短縮ダイヤルでかけるには

よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておくと便利です。
短縮ダイヤルには、可変短縮ダイヤル（個人用または小グループ用短縮ダイヤル）と固定短縮ダイヤル（どの電話機からでも利用できる、システム共通の短縮ダイヤル）の 2 種類があります。

短縮ダイヤルを登録する

■可変短縮ダイヤルを登録する

可変短縮ダイヤルは、電話機ごとに登録できます。

1　スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯します。
スピーカーランプが赤で点灯します。

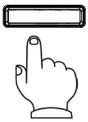
2　ダイヤルボタンで、短縮登録特番（※1）、短縮番号（※1）、局線発信特番（例えば0）、登録する相手電話番号、の順に押します。

（小容量 PBX の場合）

3　短縮ボタンを押します。

「プププブ」という確認音が聞こえます。

短縮



（中大容量 PBX の場合）

3　確認音を待ちます。

「プププブ」という確認音が聞こえます。

4　スピーカーボタンを押します。

内線ランプが消灯します。
スピーカーランプが消灯します。

■固定短縮ダイヤルを登録する

固定短縮ダイヤルは、どの電話機からでも利用できる、システム共通の短縮番号です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店が行います。

ワンポイント

●専用線番号を登録するには
手順 2 の操作で局線発信特番のかわりに専用線発信特番（たとえば 7 1 ）を押します。
●可変短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分を登録し、後半を発信のつどダイヤルすることができます。
例）　0－03－1234－5678
短縮ダイヤルで登録　　ダイヤルします。

お知らせ

●同じ短縮番号へ新たな番号を登録すると、以前に登録した相手番号は､新しい番号に置き換わります。
●※1：短縮ダイヤルの登録可能数、短縮番号の使える範囲、短縮登録特番など詳しくは、以下の Web サイトをご覧ください。
http://www.fujitsu.com/jp/products/network/ip-telephony-collaboration/ip-telephony/contact/tips/
の、よくお問い合せのある操作「短縮ダイヤル登録手順」。

短縮ダイヤルでかける

■可変短縮ダイヤルで電話をかける

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで可変短縮発信特番（たとえば 5）ー短縮番号（たとえば 1 3）を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3　相手の方が出たらお話しします。

■固定短縮ダイヤルで電話をかける

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで固定短縮発信特番（たとえば 6）ー短縮番号（たとえば 2 3）を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3　相手の方が出たらお話しします。

別の内線を呼び出す（リセットシフトコール）

相手がお話し中の場合に、内線番号の下１桁を押し直すだけで別の内線を呼び出せます。

相手の内線がお話し中だった場合、リセットシフトコールは続けて何度でも利用できます。

1　ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2　ダイヤルボタンで相手の内線番号を押します。

（例：内線 2001 にかけます。）
相手がお話し中のときは、「ツツーツツー」という話中音が聞こえてきます。

3　内線番号の下１桁を換えてダイヤルボタンを押します。

（例：内線 2002 にかけ直すときは、2 を押します。）
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

4　相手の方が出たらお話しします。

相手の通話が終了したら呼び返すには（内線待ち合わせ）

相手がお話し中のときに、相手の電話が終わりしだい、自動的に自分の電話を呼び出します。

■内線待ち合わせを登録する

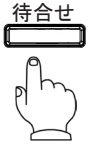
1　ハンドセットを上げます。

2　ダイヤルボタンで相手の内線番号を押します。

相手がお話し中のとき、「ツツーツツー」という話中音が聞こえてきます。

3　待合せボタンを押します。

「ピピピピ」という確認音を確認してください。
待合せランプが赤で点灯します。



4　ハンドセットを置きます。

5　内線が空くと「トゥルトゥル」という呼返音が鳴ります。

待合せランプが緑で点滅します。

6　ハンドセットを上げます。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

7　相手の方が出たらお話しします。

ワンポイント

●内線待ち合わせを解除する場合は次の順に押してください。
① スピーカーボタン
② 待合せボタン
③ スピーカーボタン
待合せランプが消灯します。

お知らせ

●内線待ち合わせ登録中も通常どおり発信、着信ができます。
●登録したあと、一定時間以上たっても相手の通話が終わらない場合、または呼び返しに一定時間内に応答しない場合は自動的に登録が解除されます。
●待合せボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

3 人で通話するには（三者通話）

2 人で通話しているときに、通話に加わってもらう相手を呼び出して、3 人でお話しすることができます。
三者通話での相手は、専用線 / 内線 / 局線のいずれでもかまいません。

1　ハンドセットを上げます。

2　ダイヤルボタンで最初の方を呼び出します。

3　2 人で通話しているときに 会議 ボタンを押します。

「ツツーツツー」という発信音を確認してください。

（小容量 PBX の場合）
　会議 ランプが赤で点灯します。
（中大容量 PBX の場合）
　会議 ランプが赤で点滅します。

4　3 人目の電話番号をダイヤルボタンで押します。

「トゥルルル」という呼び出し音が聞えます。
三者通話での相手は、専用線 /　内線 / 局線のいずれでもかまいません。
ただし中大容量 PBX の場合、内線－局線が通話中に中継線を呼び出せません。また内線－内線 or 中継線 or 局線が通話中に局線を呼び出せません。

5　3 人目の方とお話しします。

6　会議 ボタンを押します。

3 人でお話しします。
会議 ランプが赤で点灯します。

ワンポイント

●三者通話時、ひとりが受話器を置くと通常の二者通話になります。小容量 PBX の場合、3 人のうち 2 人が局線で、1 人が内線であり、かつ両方の局線相手とも内線から呼び出しをして三者通話した場合に、内線が受話器を置くと通話は切断します。

お知らせ

●会議ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

内線通話に割り込むには（割り込み）

内線同士がお話ししているときに急用の場合などは、通話に割り込むことができます。

1　ハンドセットを上げます。

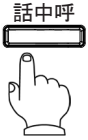
2　ダイヤルボタンで相手の内線番号を押します。

「ツツーツツー」という話中音が聞こえます。

3　話中呼ボタンを押します。

通話している内線に割り込みます。
「ププププ」という確認音が聞こえます。

（小容量 PBX の場合）
話中呼ランプが赤で点灯します。
（中大容量 PBX の場合）
話中呼ランプが赤で点滅します。



4　相手の方とお話しします。

3 人でお話しします。

お知らせ

- 割り込む相手は内線です。内線－内線、内線－局線、内線－専用線の通話のときに割り込みが可能です。
- 三者通話中の相手へ割り込むことはできません。
- 割り込まれた内線には、割り込まれる直前に割り込み予告音が聞こえます。
- 割り込むことができない電話機もあります。お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 話中呼ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

電話帳に登録するには

よく利用する電話番号を名前とともに最大 1,000 件（2,000 電話番号）登録できます。ひとりにつき、電話番号を 2 件登録できます。また、グループに分けて登録できます。グループの名前は変更できます。

1. メモリ登録の場合

(1) ボタンを押下して、「メモリ登録」を選択する。

ボタンの▲／▼で「メモリ登録」を選択し、ボタンの中央ボタンを押下します。

フリガナ検索
グループ検索
メモリ登録
戻る

(2) 名前を入力する。（名前入力画面）

●漢字、カタカナ、英字、数字を入力できます。
　名前は全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。

「富士通太郎」と入力する。
まず初めに、
①「富士通」を入力する。
「ふ」⇒ダイヤルボタン 5 を 3 回押します。
「し」⇒ダイヤルボタン 3 を 2 回押します。
「゛」⇒ダイヤルボタン 0 を 4 回押します。
「つ」⇒ダイヤルボタン 4 を 3 回押します。
「う」⇒ダイヤルボタン 1 を 3 回押します。

「ふじつう」まで入力できたところで ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら ボタンの中央ボタンを押下します。

名前：　漢
ふじつう
戻る　消去　文字

名前：　漢
富士通 _
戻る　消去　文字

名前：　漢
富士通 _
戻る　消去　文字

②「太郎」を入力する。
「た」⇒ダイヤルボタン 4 を 1 回押します。
「ろ」⇒ダイヤルボタン 9 を 5 回押します。
「う」⇒ダイヤルボタン 1 を 3 回押します。

「たろう」まで入力できたら、 ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら ボタンの中央ボタンを押下します。

名前：　漢
富士通
たろう
戻る　消去　文字

名前：　漢
富士通
太郎 _
戻る　消去　文字

更に ボタンの中央ボタンを押下するとフリガナ入力画面に移ります。

名前：　漢
富士通太郎 _
戻る　消去　文字

●入力するダイヤルボタンを押し間違えたときは、「消去」ボタンを押下すると 1 文字削除します。

(3) フリガナを入力する。

●前ページ(2)名前入力で入力したカナが自動的に反映し表示されます。
内容を変更する場合には、ダイヤルボタンを使用して修正します。

●修正が無い場合には、 ボタンの中央ボタンを押下します。
電話番号 1 入力画面に移ります。

```
フリガナ：　　カナ
ﾌｼﾞﾂｳﾀﾛｳ_

戻る　消去
```

(4) 電話番号 1 を入力する。

●電話番号は、半角 30 桁まで入力できます。

●外線番号、例えば 03-1234-5678 を入力する場合には、外線を捕捉する番号、例えば "0" を登録する番号の頭につけて入力します。
入力例：00312345678

●電話番号 1 を入力しないで ボタンの中央ボタンを押下すると電話番号 2 の画面へ移ります。

●電話番号 1 の入力が終わったら、 ボタンの中央ボタンを押下します。
電話番号 2 入力画面に移ります。

```
ＴＥＬ１：　　数
00312345678_

戻る　消去
```

(5) 電話番号 2 を入力する。

●電話番号は、半角 30 桁まで入力できます。
入力方法については、上記（4）と同じです。

●電話番号 2 の場合は、電話番号を入力しなくても ボタンの中央ボタンを押下すると次の設定画面（グループ）に移ります。

※電話番号 1,2 どちらにも電話番号を入力していない場合は次の設定画面（グループ）へ移りません。

```
ＴＥＬ２：　　数
00312340000_

戻る　消去
```

(6) グループを選択する。

●グループは最大 10 グループまで登録できます。
グループ名については､グループなし､グループ 1 ～グループ 9 が入っています。

●グループの検索は、 ボタンの▲／▼で選択します。
登録したいグループを選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。
着信音色登録画面に移ります。

```
グループ：
グループなし
グループ１
戻る
```

(7) 着信音色を登録する。

●着信音色はリンガ 9 種類(無音を含む)とメロディ 10 曲から選べます。

●音色は ボタンの▲ / ▼で選択します。
登録したい音色を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。
着信ランプ登録画面に移ります。

```
着信音色：
着信音色（標準）
メヌエット　ト長調
戻る
```

(8) 着信ランプの色を登録する。

●着信ランプの色は 7 色又は全色（レインボー）から選べます。

●着信ランプの色は ボタンの▲ / ▼で選択します。
登録したい着信ランプの色を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。
これで 1 件の電話帳の登録作業が完了となります。

画面上に「登録しました　残り件数は xxx 件です」が表示され、
メニュー画面へ移ります。

※着信音色と着信ランプの電話帳連携の設定（有効／無効）については、
着信音の音色･着信ランプの電話帳連携を設定する（→ P21）をご覧ください。

着信ランプ：
着信ランプ（標準）
赤
戻る

しばらく
お待ち下さい...

登録しました
残り件数は xxx 件
です

●お知らせ

・電話帳がロックされている時は ボタンを押下すると、「電話帳のロックを解除してください」と表示されますので、十字キーの中央ボタンを長押ししてください。パスワードの入力画面になりますので、パスワードを入力してください。正しいパスワードを入力するとロックが解除されます。再度ロックする場合は、十字キーの中央ボタンを長押ししてください。

・電話帳データの書き込み中は「しばらくお待ち下さい・・・」と表示されますので、その間は電話機のコードを抜かないでください。あるいは PBX の電源を OFF しないでください。

2. グループ登録の場合

(1) ボタンを押下して、「グループ登録」を選択する。

ボタンの▲／▼で「グループ登録」を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。

グループ検索
メモリ登録
グループ登録
戻る

●グループの登録は 9 件です。(1 ～ 9：グループ名登録可)
初期グループ名は、「グループ 1」～「グループ 9」となっています。
●グループ名は、全角最大 10 文字、半角最大 20 文字です。

グループ：
グループ 1
グループ 2
戻る

(2) グループ名を登録する。
ここでは「グループ 1」のグループ名を「会社」と登録します。

①「グループ 1」を選択し ボタンの中央ボタンを押下します。
「グループ 1」の画面が表示されます。

グループ：　漢
グループ 1 _

戻る　消去　文字

②「グループ 1」を消去し、「会社」と入力します。
「か」⇒ダイヤルボタン を 1 回押します。
「い」⇒ダイヤルボタン を 2 回押します。
「し」⇒ダイヤルボタン を 2 回押します。
「ゃ」⇒ダイヤルボタン を 4 回押します。

グループ：　漢

かいしゃ
戻る　消去　文字

※文字を消去する場合、「消去」ボタンを一度押下すると 1 文字消去できます。

③ ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら ボタンの中央ボタンを押下します。

グループ：　漢

会社 _
戻る　消去　文字

グループ：　漢
会社 _

戻る　消去　文字

④「グループ 1」のグループ名が「会社」に確定されたことを確認し、もう一度 ボタンの中央ボタンを押下します。
画面上に「グループ:会社　を登録しました」が表示され、メニュー画面へ移ります。

しばらく
お待ち下さい . . .

グループ
会社
を登録しました

電話帳を検索するには

電話帳を検索する場合は、
1.　フリガナ検索
2.　グループ検索
3.　50 音検索
の 3 つの検索手段があります。それぞれの検索方法について以下に示します。

1. フリガナ検索の場合

(1)　ボタンを押下して、「フリガナ検索」を選択します。
ボタンの▲／▼で「フリガナ検索」を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。

フリガナ検索
グループ検索
メモリ登録
戻る

(2) 検索したい文字から始まるフリガナが登録されている電話帳が表示されます。
例として「富士通太郎」を検索します。
ダイヤルボタン 5 を 3 回押します。
ダイヤルボタン 3 を 2 回押します。
ダイヤルボタン 0 を 4 回押します。
ダイヤルボタン 4 を 3 回押します。
ダイヤルボタン 1 を 3 回押します。
「ﾌｼﾞﾂｳ」まで入力して「検索」ボタンを押下すると該当する名前が先頭に表示されます。
該当の名前がなかった場合は、その後の一番近い名前から表示されます。
画面上に表示されていない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

フリガナ：　　ｶﾅ
ﾌｼﾞﾂｳ_

戻る　消去　　検索

富士通太郎
富士通花子
富士通花実
戻る　消去　内容　発信

(3) 検索した内容を確認したい場合には、「内容」ボタンを押下します。
ボタンの▲／▼で表示されていない内容を確認することができます。

▼：名前⇒フリガナ⇒ＴＥＬ１⇒ＴＥＬ２⇒⇒グループ⇒着信音色⇒着信ランプ⇒名前⇒…
▲：名前⇒着信ランプ⇒着信音色⇒グループ⇒ＴＥＬ２⇒ＴＥＬ１⇒フリガナ⇒名前⇒…

2. グループ検索の場合

(1) ボタンを押下して、「グループ検索」を選択します。

ボタンの▲／▼で「グループ検索」を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。

フリガナ検索
グループ検索
メモリ登録
戻る

(2) グループが表示されるので、確認したいグループを ボタンの▲／▼で検索し、「検索」ボタンを押下します。
例として「会社」を検索します。

グループなし
会社
友達
戻る　検索

グループとして「会社」を選択している名前が表示されます。

画面上に表示されていない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

斉藤一郎
富士通太郎
富士通花子
戻る　消去　内容　発信

3. 50 音検索の場合

(1) ボタンを押下して、「50 音検索」を選択します。

ボタンの▲／▼で「50 音検索」を選択し、 ボタンの中央ボタンを押下します。

メモリ登録
グループ登録
５０音検索
戻る　検索

(2) 検索したい名前の行（該当するダイヤルボタン）を押下します。
例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン を１回押します。
「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には ボタンの▲／▼で検索します。

または、フリガナの頭文字が割り当てられている ～ （ア～ワ行）のボタンを押下することにより、検索することもできます。

阿部一郎
阿部二郎
伊藤三郎
戻る　消去　内容　発信

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る　消去　内容　発信

電話帳から発信するには

(1) P.48 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で発信したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」へ発信します。

「斉藤一郎」を選択している状態で「発信」ボタンを押下または受話器を上げると「斉藤一郎」へ発信します。

※このとき発信は TEL1 に登録している番号を優先して発信します。
TEL2 に登録している番号を発信したい場合には一度登録している内容を確認し、TEL2 を選択して「発信」ボタンを押下または受話器を上げると TEL2 の番号で発信します。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る　消去　内容　発信

00312345678
呼出中
斉藤一郎

■登録内容を確認してから発信する場合

①「斉藤一郎」の内容を確認する。
「斉藤一郎」を選択している状態で「内容」ボタンを押下します。

名前：斉藤一郎
ﾌﾘｶﾞﾅ：ｻｲﾄｳｲﾁﾛｳ
TEL1：00312345678
戻る　編集　発信

②電話番号の内容を確認する。

ボタンの▲／▼で内容を確認します。

ﾌﾘｶﾞﾅ：ｻｲﾄｳｲﾁﾛｳ
TEL1：00312345678
TEL2：00312340000
戻る　編集　発信

③発信したい番号（TEL1 か TEL2）を選択し、「発信」ボタンを押下または受話器を上げると「斉藤一郎」へ発信します。

00312340000
呼出中
斉藤一郎

電話帳の内容を修正するには

(1) P.48 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で修正したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」の内容を修正します。

(2)「斉藤一郎」を選択し、「内容」ボタンを押下します。
「斉藤一郎」の内容が確認できます。

例として TEL1 の電話番号を編集します。

(3) TEL1 を ボタンの▲／▼で選択し、「編集」ボタンを押下します。
TEL1 の編集画面が表示されます。現在設定してある TEL1 の電話番号を「消去」ボタンで削除してから新しい電話番号を入力します。

新しい電話番号が入力できたら ボタンの中央ボタンを押下します。

(4) 再度登録内容を ボタンの▲／▼で確認し、内容が間違っていなければ「登録」ボタンを押下します。

「登録内容を変更しました」が表示され、メニュー表示に戻ります。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る　消去　内容　発信

名前：斉藤一郎
ﾌﾘｶﾞﾅ：ｻｲﾄｳｲﾁﾛｳ
TEL1：0312345678
戻る　編集　発信

ＴＥＬ１：　数
0312340000
戻る　消去

名前：斉藤一郎
ﾌﾘｶﾞﾅ：ｻｲﾄｳｲﾁﾛｳ
TEL1：0312340000
戻る　編集　登録

しばらく
お待ち下さい...

登録内容を
変更しました

電話帳の内容を削除するには

(1) P.48 の「電話帳を検索するには」に記載してあるいずれかの検索方法で削除したい電話帳の名前を呼び出します。
例えば、「斉藤一郎」の内容を削除します。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る　消去　内容　発信

(2)「斉藤一郎」を選択し、「消去」ボタンを押下します。
「斉藤一郎」のみを削除する場合は、「1 件」を押下し、「はい」を押下します。
電話帳全件を削除する場合は、「全件」を押下し、「はい」を押下します。

消去しますか？
戻る　1 件　全件

「斉藤一郎」を削除する場合

斉藤一郎
消去しますか？
はい　いいえ

全件削除する場合

全件
消去しますか？
はい　いいえ

しばらく
お待ち下さい...

消去しました

「消去しました」と表示され、メニュー表示へ戻ります。

文字の入力について

ダイヤルボタンを使用してひらがな・カナ・英数字を入力することができます。
ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに以下のように変わります。
例）「う」を入力するには、「かな」入力モードにしてダイヤルボタン 1 を 3 回押下します。
　　「B」を入力するには、「英字」入力モードにしてダイヤルボタン 2 を 2 回押下します。

モード／ボタン	ひらがな（漢字）	カタカナ	英　字	数字
1	あ-い-う-え-お-ぁ-ぃ-ぅ-ぇ-ぉ-	ア-イ-ウ-エ-オ-ァ-ィ-ゥ-ェ-ォ-		1
2	か-き-く-け-こ-	カ-キ-ク-ケ-コ-	A-B-C-a-b-c-	2
3	さ-し-す-せ-そ-	サ-シ-ス-セ-ソ-	D-E-F-d-e-f-	3
4	た-ち-つ-て-と-っ-	タ-チ-ツ-テ-ト-ッ-	G-H-I-g-h-i-	4
5	な-に-ぬ-ね-の-	ナ-ニ-ヌ-ネ-ノ-	J-K-L-j-k-l-	5
6	は-ひ-ふ-へ-ほ-	ハ-ヒ-フ-ヘ-ホ-	M-N-O-m-n-o-	6
7	ま-み-む-め-も-	マ-ミ-ム-メ-モ-	P-Q-R-S-p-q-r-s-	7
8	や-ゆ-よ-ゃ-ゅ-ょ-	ヤ-ユ-ヨ-ャ-ュ-ョ-	T-U-V-t-u-v-	8
9	ら-り-る-れ-ろ-	ラ-リ-ル-レ-ロ-	W-X-Y-Z-w-x-y-z-	9
0	[あ行、な行、ま行、や行、ら行] わ-を-ん-ー-・-？-！-、-。-□- [か行、さ行、た行] わ-を-ん-゛-ー-・-？-！-、-。-□- [は行] わ-を-ん-゛-゜-ー-•-?-!-、-。-□-	ワ-ヲ-ン-゛-゜-ー-・-？-！-□-	[電話帳登録] .-'-・-?-!-_-:-&-/-(-)-¥-#-＊-□-	0
＊				＊
#	→（カーソルの右移動）			#

※続けて同じボタンの文字を入力する時には、#ボタンでカーソルを一つ右に移動させてください。
※次に入力する文字が違うボタンの場合は、そのボタンを押下するとカーソルは自動的に右に移動します。
※□：空白（スペース）を示します。

発着信履歴機能について

■仕様

●本機能は、下記 PBX が対象となります。また、PBX 本体ソフトのバージョンによりご使用できない場合があります。お買い求めになった販売店へお問い合わせください。

※対象となる PBX

小容量 PBX　　：IP Pathfinder S

中大容量 PBX　：LEGEND-V S100、LEGEND-V

注：LEGEND-V S100 は回線容量としては小容量 PBX と同等ですが、機能面では中大容量 PBX と同等なため、本書では中大容量 PBX に含めて記載しています。

【小容量 PBX の仕様】

● IP Pathfinder S 基本サービス V5 以降の発着信履歴件数は、発信履歴：20 件、着信履歴：20 件（PBX 本体サービスを使用）です。また IP Pathfinder S 基本サービス V4 以前の発着信履歴件数は、発信履歴：8 件、着信履歴：8 件（PBX 本体サービスを使用）です。履歴情報が登録件数以上となった場合は、履歴情報の古い情報から削除されます。

●発着信履歴の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作ができます。（オンフックのみ）

●既に履歴情報として登録されている履歴情報と同じ番号へ発信、着信したときは、発着信履歴情報は全て上書きされます。

●発着信履歴から発信した場合、電話帳に登録されている情報を表示します。

●通話中に発着信履歴を見ることはできません。

■注意事項

自分の電話機が鳴っているときに、“発信履歴”もしくは“発番号セーブダイヤル”ボタンを押すことにより、発着信履歴が表示されますが、履歴を確認するために▲ / ▼ボタンを押すと、履歴表示内容が変更すると同時に、呼出音の音量も変更されてしまいます。ご注意願います。

【中大容量 PBX の仕様】

●発信履歴、着信履歴それぞれのボタンがあります。

●発着信履歴件数は、発信履歴：30 件、着信履歴：30 件です。履歴情報が登録件数以上となった場合は、履歴情報の古い情報から削除されます。

●発着信履歴の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作ができます。（オンフックのみ）

●既に履歴情報として登録されている履歴情報と同じ番号へ発信、着信しても発着信履歴情報は全て履歴情報として登録されます。

●発着信履歴表示中に履歴検索で使用するボタン以外のボタンを押しても、無効となります。

●発着信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げれば通話できます。また、相手番号を確認してから通話したい場合には、「戻る」ボタンを押して、発着信履歴表示から抜けると着信画面に切り変わります。

●着信時に相手から番号がこない場合（非通知着信など）は、着信履歴として残りますが、番号は表示されません。

●発着信履歴から発信した場合、電話帳に登録されている情報を表示します。

●通話中に発着信履歴を見ることはできません。

■注意事項

●電話機コード抜き差しや、フリーアサインボタン設定などにより、電話機が再起動した場合には、発着信履歴の情報は削除されます。ご注意願います。

●中継台発信時の場合は、発着信履歴の情報は残りません。ご注意願います。

●再呼操作（リダイヤル）を行う場合には、必ずダイヤルトーン（DT 音）を聞いてから再呼ボタンを押してください。

小容量 PBX での発信履歴操作について

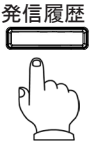
本体サービス【発信履歴】機能を使用します。発信履歴件数は IP Pathfinder S 基本サービス V5 の場合を例に記載します。

- ●発信履歴としてセーブできるのは内線（転送含む）、外線、ワンタッチダイヤルです。発信履歴は自動的にセーブします。
- ●発信履歴は電話機 1 台あたり最大 20 件（1 番号あたり最大 15 桁）まで記憶できます。
- ●発信履歴にすでに 20 件登録されている場合は、最も古い番号が消去されます。
- ●発信履歴に同一番号が記憶されている場合は、記憶済みの同一番号は消去されます。
- ●発信履歴については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
- ●発信履歴が表示されているときに“0”ボタンを押すと、その表示中の発信履歴を消去して次の発信履歴（1 つ前に記憶された発信履歴）を表示します。
- ●発信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げても応答することができません。応答する場合には、必ず「発信履歴」ボタンを押してから受話器を上げてください。

■発信履歴操作方法

1 「発信履歴」ボタンを押します。

発信履歴検索画面になり、発信した電話番号が表示されます。
「発信履歴」ボタンのランプが赤で点灯します。



2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押します。

目的の電話番号が表示されるまでボタンを押してください。

0312345678

3 目的の電話番号が表示されたら、ハンドセットを上げるか、またはスピーカーボタンを押します。

表示された電話番号へダイヤルされます。
「発信履歴」ボタンのランプが消灯します。

ワンポイント

- ●手順 3 で発信履歴からの発信を中止するときはハンドセットを戻すかスピーカーボタンを押します。

お知らせ

- ●発信履歴ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

小容量 PBX での着信履歴操作について

本体サービス【発番号セーブダイヤル】機能を使用します。着信履歴件数は IP Pathfinder S 基本サービス V5 の場合を例に記載します。

●手動セーブ：着信履歴を残す為には、着信通話中に発番号セーブ / 表示ボタンを押す必要があります。ボタンを押さないと着信履歴は残りません。また内線着信は着信履歴に残りません。（各電話機の初期状態は、手動セーブになっています）

●自動セーブ：着信時、自動的に着信履歴を残します。
　1：局線着信のみ着信履歴を残す
　2：専用線着信のみ着信履歴を残す
　3：局線と専用線の着信履歴を残す
の 3 種類があります。内線着信は着信履歴に残りません。

●手動セーブ / 自動セーブ　状態を切替えるには：手動 / 自動セーブ切替特番（※）をダイヤルし、その後０～３のいずれかをダイヤルします。
　0：手動セーブ
　1：局線着信のみ自動セーブ
　2：専用線着信のみ自動セーブ
　3：局線着信と専用線着信を自動セーブ

●着信時、液晶ディスプレイに相手の番号が表示した場合だけ、着信履歴を残す事ができます。番号表示していない場合は着信履歴を残せません。

●着信履歴は電話機 1 台あたり最大 20 件（1 番号あたり最大 15 桁）まで記憶できます。

●自動セーブは各種局線着信方式で実施できます。（ダイレクトインライン、ダイレクトライン、フローティングライン、ダイヤルイン、ISDN ダイヤルイン、付加番号ダイヤルイン、発番号ダイヤルイン）。ただし、ダイレクトラインとフローティングラインの場合は、着信に応答した時に自動セーブされます。

●着信履歴が表示されているときに“0”ボタンを押すと、その表示中の着信履歴を消去して次の着信履歴（1 つ前に記憶された着信履歴）を表示します。

●着信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げても応答することができません。応答する場合には、必ず「発番号セーブ / 表示」ボタンを押してから受話器を上げてください。

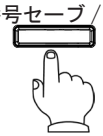
お知らせ

●発番号セーブ / 表示　ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。また手動 / 自動セーブ切替特番（※）は初期出荷時登録されていません。ボタン登録が必要、または特番がご不明の場合は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

■着信履歴操作方法

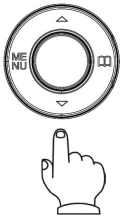
1　発番号セーブ／表示ボタンを押します。

着信履歴検索画面になり、着信した電話番号が表示されます。



2　▲ボタンまたは▼ボタンを押します。

目的の電話番号が表示されるまでボタンを押してください。



0441234567

3　目的の電話番号が表示されたら、ハンドセットを上げるか、またはスピーカーボタンを押します。

表示された電話番号へダイヤルされます。

ワンポイント

●手順 3 で着信履歴からの発信を中止するときはハンドセットを戻すかスピーカーボタンを押します。

中大容量 PBX での発信履歴操作について

発信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。
発信履歴情報は、30 件まで表示されます。発信履歴情報が 30 件以上になると古い情報から削除されます。
同じ相手にかけた場合、最新の一件のみが記憶されます。
発信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

(1) カレンダー表示の状態で、「発歴」ボタンを押下します。
●発 :01 の情報が表示されます。

11:59 PM　12 月 31 日「月」
受話音量
発歴　着歴

●発 :01 を表示中に ボタンの▲／▼を押下すると、次の発信履歴情報を見ることができます。

発 :01:04/18　02:20 PM
富士通太郎
00312345678
戻る　消去　登録　発信

発 :02:04/17　08:00 PM
富士通花子
00312349000
戻る　消去　登録　発信

(2) 発信履歴情報を用いて発信する場合には、「発信」ボタン押下または受話器を上げると相手先へ発信することができます。
例として、「富士通太郎」へ発信します。

00312345678
呼出中
富士通太郎

(3) 発信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1 件」もしくは「全件」を選択することができます。

消去しますか？
戻る　1 件　全件

「1 件」を選択した場合には、1 件分を消去するメッセージが表示されます。
「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。
「はい」を押下すると、「消去しました」のメッセージが表示されます。

1件消去しますか？
はい　いいえ

消去しました

1 件分を消去した場合に、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1 件古い履歴情報が表示され、古い履歴情報がない時は、1 件新しい履歴情報が表示されます。

発 :01:04/17　08:00 PM
富士通花子
00312349000
戻る　消去　登録　発信

(4) 発信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。
電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

名前 :　漢
富士通次郎 _
戻る　消去　文字

中大容量 PBX での着信履歴操作について

着信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。
着信履歴情報は、30 件まで表示されます。着信履歴情報が 30 件以上になると古い情報から削除されます。
着信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

```
11:59 PM  12 月 31 日 [月]

                発歴  着歴
```

(1) カレンダー表示の状態で、「着歴」ボタンを押下します。
●着 :01 の情報が表示されます。
●着 :01 を表示中に ボタンの▲／▼を押下すると、次の着信履歴情報を見ることができます。

```
着 :01:04/18  03:20 PM
富士通太郎
0312345678
戻る  消去  登録  発信
```

(2) 着信履歴情報を用いて発信する場合には、「発信」ボタン押下または受話器を上げると相手先へ発信することができます。
例として、「富士通太郎」へ発信します。

```
00312345678
呼出中
富士通太郎
```

(3) 着信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1 件」もしくは「全件」を選択することができます。

```
消去しますか？

戻る          1 件  全件
```

「1 件」を選択した場合には、1 件分を消去するメッセージが表示されます。
「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。
「はい」を押下すると、「消去しました」のメッセージが表示されます。

```
1 件消去しますか？

はい              いいえ
```

1 件分を消去した場合に、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1 件古い履歴情報が表示され、古い履歴情報がない時は、1 件新しい履歴情報が表示されます。

```
消去しました
```

(4) 着信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。
電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

```
着 :01:04/17  08:00 PM
富士通花子
0312349000
戻る  消去  登録  発信
```

```
名前 :                漢
富士通次郎 _

戻る  消去  文字
```

フリーアサインボタンについて

本電話機のフリーアサインボタンは、下表の機能ボタンとして使用することができます。
各ボタンへの機能割り付けなど詳しくは、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
本書に記載した機能は参照ページに説明があります。

機　能	概　要	参照ページ
内線	局線で通話中に、内線にかけたり内線に応答するときに使います。	P27
局線	局線へかけるとき、局線からの着信に応答するときに使います。	P27、30、32
アラーム	アラームを鳴らす時刻を設定するときに使います。	―
ワンタッチ	ワンタッチで電話をかけるときに使います。	P35、36、37
放送	放送設備やポケットベルを使って呼び出しを行うときに使います。	―
会議	三者通話を行うときに使います。	P45
八者会議	複数の人（最大八者）と通話を行うときに使います。	―
コールホールド	相手を保留し、自分の電話機で一般の発信を行うときに使います。	―
不在転送	自分の電話機への内線着信を他の内線へ転送するときに使います。	P33、34
応答（保留応答）	局線から着信に応対するときに使います。 また、局線表示盤に着信したときの応答に使います。	―
不在	内線からの呼び出しを停止し、相手に不在理由を知らせます。	P66
不在時着信表示	相手の着信表示ランプをつけて用件があることを知らせます。 （相手は着信表示機能のある電話機に限ります）	―
ピックアップ	同じグループ内のほかの電話機への着信に応答するときに使います。	P30
他グループピックアップ （G ピックアップ）	他のグループへの着信に応答するときに使います。	―
待合せ	相手内線が話し中のとき、相手が空きしだい自動的に空いたことを知らせます。また、局線 / 専用線が全て話し中のときにも使います。	P44
コールパーク	通話中の相手を保留番号を指定して保留し、どの内線からも保留に応答するときに使います。	―
話中呼	通話中に割り込み、三者通話するときに使います。	P46
表示	データ、音声、プログラムの各モードの表示に使います。	―
PB 切替	回転ダイヤルの回線を使用中にプッシュボタン信号を送るときに使います。	―
コールウェイティング	通話中の相手に割り込むときに使います。被割込者の通話相手は保留されています。	―
在 / 不在	ボタンモジュールの在席表示ランプに表示する在 / 不在の状況を登録するときに使います。	―

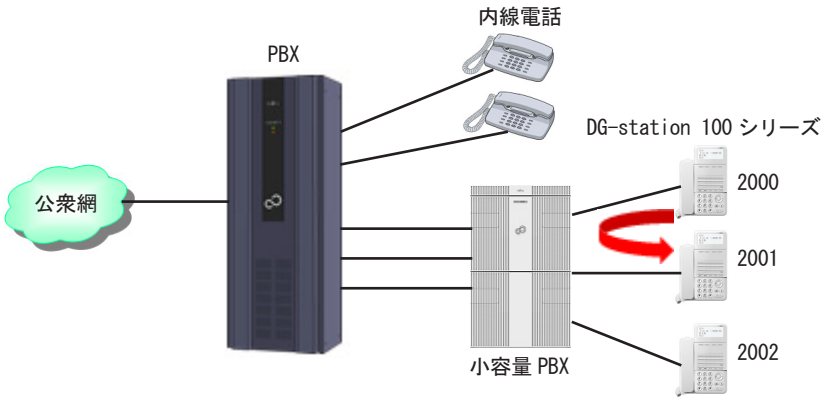
呼出音の音色を切り替えるとき

《呼出音の音色切り替え方法について》

以下の場合において呼出音の音色が上手く切り替えられない場合があります。
・システム構成として下記に示す小容量 PBX*1 用電話機を他 PBX の内線へ接続（セクションマシン使用）する場合

〈呼出音の音色を切り替える場合には〉

DG-station100 シリーズの設定メニューで音色を設定してください。(P16 参照)
*1：小容量 PBX　IP Pathfinder S



※システム構成が分からない場合には、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください
ボタンのランプが消えない	（局線ランプ、内線ランプなど） ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
	（局線ランプ、転送ランプなど） 自分または、他の人が保留したままになっている	ハンドセットを上げ、ボタンを押して使用中かどうか確認してください
	（待ち合わせ、不在転送など） 登録を解除していない	各種ボタンごとの解除方法で登録を解除してください
電話機から変な音が出ている	ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
ボタンを押してもランプがつかない	ランプがつかないボタンを押した	ワンタッチ、短縮などの機能ボタンはランプがつきません
ハンドセットを上げても発信音が聞こえない、または、通話中に相手の声が聞こえなくなった	電話機やハンドセットのコードが外れている	外れている場合は、いったんハンドセットを戻し、電話機から電話機コードを抜いて、もう一度差し直してください
	上記以外	お買い上げになった販売店へご相談ください
再呼ボタンが光ったままで、それを押すと最後に電話した相手ではなく、ある特定の相手にかかる	セーブナンバーダイヤルが登録されている	どこかに電話をかけて頂き、通話中に、点灯している再呼ボタンを押すと解除できます（再呼ボタンは消灯）。セーブナンバーダイヤルは（→ P.28）をご覧ください。また、詳細は小容量 PBX に添付されている取扱説明書をご覧ください。（尚、中大容量 PBX では、この機能をお使いになれません）

こんなときは	原　因	確認してください
突然、着信しなくなった	不在登録特番をダイヤルした	小容量 PBX の場合は出荷時、不在登録特番が 114、不在解除特番が 154 に設定されています。154 とダイヤルして不在解除してください。ただし不在解除特番が 154 以外の番号にカスタマイズしてある場合はその限りではありません。 （尚、中大容量 PBX の場合は出荷時、不在登録特番と不在解除特番は設定されていません。） 不在解除特番がご不明の場合は、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

仕様

■ DG-station 100 シリーズ

○：機能あり、×：機能なし、OP：オプション

項　目		100A2	100B2	100C2	100D2	100E2	100PA2	100PB2
小容量 PBX		○						
中大容量 PBX		○						
固定機能ボタン（上下キー含む）		8	8	8（9）				
フリーアサインボタン数　※1		12	12	24（23）				
拡張ワンタッチダイヤルボタン数 ※2		0				12	0	
ディスプレイ表示		×	漢字 4 行					
ハンズフリー機能		×	×	×	○	○	×	×
録音端子　※3		×	○					
電子電話帳		×	1,000 件					
発信履歴　※4		×	IP Pathfinder S 基本サービス V4 以前 :8 件 IP Pathfinder S 基本サービス V5 以降 :20 件 中大容量 PBX:30 件					
着信履歴　※4		×	IP Pathfinder S 基本サービス V4 以前 :8 件 IP Pathfinder S 基本サービス V5 以降 :20 件 中大容量 PBX:30 件					
停電機能　※5		×					アナログ	INS
ボタンモジュール接続（大容量のみ）		×	OP	OP	OP	OP	×	×
DSS（小容量のみ）		OP						
高音量ベル		OP						
壁掛け		OP						
電話機コード		2/6MJMJ					4/6MJMJ	6/6MJMJ
電話機本体カラー		ナチュラルホワイト						
ヘッドセット　※6		OP						
寸　法	幅（mm）	180	180					
	奥　行（mm）	211	266					
	高　さ（mm）	72.5	72.5					
質　量（g）		800	910	910	910	910	910	920

＊許容差　± 5mm

※1　小容量 PBX は 24 ボタン、中大容量 PBX は 23 ボタン（上下切り替えボタン 1 つ除くため）
※2　ワンタッチダイヤル機能の専用ボタン。拡張ワンタッチダイヤルボタンと称します。
※3　コネクター形式　φ 3.5mm　JIS C 6560-1994 準拠プラグ
　　出力インピーダンス 600 Ω以下、ケーブル：ミニプラグ⇔ミニプラグ（抵抗無し）
　　推奨ケーブル：FC780RJC1（10 本 / 組、電話機側 L 字タイプ）
※4　小容量 PBX は本体側機能で対応、中大容量 PBX は電話機側機能で対応
※5　停電時には、″外線へかける・外線に応答する″以外の機能（ディスプレイ表示・内線通話など）は使用できません。
※6　DG-station 100 シリーズのヘッドセットは FC760A15 のみです。ヘッドセット使用時に受話音量が大きいと感じた場合は、
　　調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。

アフターサービスについて

万一、製品などに不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

1. 修理を依頼されるときは

●保証期間中
保証書に記載されている当社無料修理規程に基づき修理いたします。
●保証期間外
修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有料修理いたします。
●ご注意
・メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、必ずお控えください。
なお、メモリの内容などが変化、消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

2. 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの電話機およびその周辺機器の補修用性能部品を製造打ち切り後約７年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

注　意
本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当します。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE
This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2022 年 7 月 T101-2662-04

FUJITSU